

## 令和7年度「はんしん自立の家」 第1回 地域連携推進会議 議事録

日時： 令和8年1月27日（火） 14:00～16:00

場所： 「はんしん自立の家」 チェンジャーホール

出席者： 推進員1 利用者（1名）

推進員2 利用者家族（1名）

推進員3 地域の関係者：民生委員（1名）

推進員4 福祉・経営の有識者：NPO 法人代表（1名）

推進員5 行政：宝塚市障害福祉課（1名）

推進員6 施設側：施設長（1名）、サービス管理責任者（1名）、事務員（1名）

### 1. 開会の挨拶の会議の説明

開会の挨拶： 施設長より開会の挨拶。

会議の目的および注意事項： サービス管理責任者より、本会議の目的と注意事項について説明した。

### 2. 推進員の紹介

サービス管理責任者より推進員の紹介を行った後、各自で自己紹介した。

### 3. 施設紹介および虐待防止と権利擁護などについて説明

施設長及びサービス管理責任者より、以下の項目についてパワーポイントを用いて、説明を行った。

**施設概要：** 開設日、提供サービス、認可定員、職員配置、利用者の属性（援護市町村、障害区分、年齢構成等）について説明。

**虐待防止・権利擁護：**

令和6年度より義務化された「虐待防止委員会」および「身体拘束適正化委員会」について説明。

令和6年度の虐待件数は0件。身体拘束は1件行っているが、本人・家族へ説明し同意を得た上で、規定に基づき詳細を記録している旨を報告した。

**事故・苦情対応：**

令和6年度の事故件数は11件、ヒヤリハットは33件。

事故発生時は事故対策委員会を開催し、再発防止に努めている。

令和6年度の苦情件数は5件。第三者委員会による相談機会を年1回設けていることを説明した。

**BCP（業務継続計画）：** 災害や感染症発生時を見据えた訓練・研修の実施状況を報告。今後の課題として、近畿地区身体障害者施設協議会との協力体制は構築済みだが、近隣自治会との協力関係が築けていない点を挙げた。

**行事紹介：** スライドを用い、コンサートや盆踊りなど 12 の行事を紹介。地域ボランティアの支えにより、入居者が地域社会との繋がりや、芸術文化に触れる機会を設けていることを説明した。

#### 4. 施設見学

以下の設備・居室を見学した。

訓練室、医務室、1 階ホール（臨床美術作品・張り子・絵本の展示）、レスパイトルーム（短期入所）、食堂、男女居室、浴室

#### 5. 講評および意見交換

推進員より以下の意見が出された。

**推進員 1：** 職員の減少を懸念。以前は小学校などで講演する機会があったが、今はなくなった。子ども食堂などの取り組みを通じ、幼少期から介助体験をすることが福祉への理解や将来の就業につながるのではないか。

**推進員 2：** 福祉を支える人材が増えることを願っている。若い世代に興味を持ってもらうための効果的な広報の必要性を感じた。

**推進員 3：** ヒヤリハットに対し即座に協議する体制は重要。地域住民が抵抗感なく障害者と接するには、幼少期からの接点が不可欠。まちづくり協議会や児童館を通じた施設紹介、防災・行事での交流を促進したい。

**推進員 4：** 利用者の表情や佇まいに施設の質の高さが表れている。障害のない人が自然に溶け込める環境づくりが課題。人手不足の中で入居者の生活の質を守り向上させることが、本会議の役割である。

**推進員 5：** 利用者が思い思いに過ごす姿や、それを支える職員の尽力を再認識した。介助の大変さと同時に楽しさも感じられた。

#### 6. 今後の課題と取り組み

会議での意見を踏まえ、以下の課題を確認した。

**障害者理解の促進：** 幼少期からの継続的な交流機会を創出し、自然な理解を深める。

**人材確保・育成：** 深刻な職員不足への対策。

#### 7. 閉会

施設長より謝辞があり、16 時に閉会した。